

歯並び・かみ合わせの異常には様々なものがありますが、次のような状態があれば、早目に歯科医院で相談されることをお勧めします。



反対咬合 (受け口)

下の歯が上の歯よりも前に出かむ状態です。舌の癖や口呼吸があるとより悪化するとされています。



(乳歯が生えそろう前の時期(2歳未満)はかみ合わせが安定しにくく、一時的に反対咬合になっている場合もあります。)



指しゃぶりが止められない時は?

指しゃぶりは1~2歳がピークで、3歳までに中止すれば、歯並びへの影響は少ないと言われています。長期に続く場合には、退屈や寂しいなど心理的な背景も考えられます。どんな時に指しゃぶりをしているかを観察して、両手を使う遊びで退屈させないようにしたり、寝る時に手を握ってあげたり、指しゃぶりの影響をゆっくり話してあげて、指しゃぶりがしていない時に褒めてあげるなど、工夫してみましょう。



かいこう 開咬 (開口)

奥歯をかんでも上下の前歯が当たらない状態です。指しゃぶりや舌の癖、口呼吸などが関係しています。放置すると、治療が難しくなります。



じょうがくぜんとう 上顎前突 (出っ歯)

指しゃぶりや唇をかむ癖、口呼吸などを早めに治すと悪化するのを防ぐことができます。



いつ頃矯正の相談に行けばいいの?

いつ受診するのがよいかは、ひとりひとり異なりますが、かみ合わせを決定する6歳臼歯が生えてくる小学校入学前もよいタイミングです。



協力 / 三重県歯科医師会

〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2 ☎059-227-6488 (代)

<http://www.dental-mie.or.jp>

mamagohan

日本歯科医師会
PR キャラクター よ坊さん(三重県)

